

平成31年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点 マスター プラン： 3つの挑戦 / 施策番号 5-4 . 6-3 . 局・課名： 建築都市局・公共交通課
 低炭素

事業名	公共交通利用促進事業(公共交通課)	事業費(千円)	平成29年度決算額	平成30年度予算額	平成31年度要求額	
					364,837	415,450
【目的】 バスの利用促進や利便性向上につながる取り組みを実施することにより、バス交通の維持・活性化を図ることを目的とする。 【内容】 ○バス利用促進等総合対策事業 事業者が行うノンステップバスの導入など、公共交通の利便性の向上や利用促進につながる取り組みに対して補助を実施する。 ○おでかけ応援バス事業 65歳以上の市民が路線バス(南海バス・近鉄バス)を1乗車100円で利用できるおでかけ応援バスを実施する。 ○バス待ち環境の調査 安全で快適なバス待ち環境の検討のための調査を実施する。 ○地域における利用促進等の取り組み 小学校と高校へのモビリティ・マネジメントなど公共交通の利用促進を地域と共に実施する。 【今年度要求のポイント】 ○バス利用促進等総合対策事業 ノンステップバス導入に対する補助金見込額を要求 ○おでかけ応援バス おでかけ応援バスに対する負担金見込額を要求 ○バス待ち環境の検討 バス待ち環境の検討のための調査に係る費用を要求 ○地域における利用促進等の取り組み 地域における利用促進のための印刷物等に係る費用を要求	債務負担行為 期間 H ~ H	要求額(千円)				
		主な要求内容 (単位:千円)				
			項目	30年度予算	31年度要求額	内容・積算等
			バス利用促進等総合対策事業			
			・ノンステップバスの導入	3,640	5,239	(20,639千円-15,400千円)×1/2×2台
			おでかけ応援バス			
			・事業負担金	410,670	434,512	事業負担金
			バス待ち環境の調査	0	300	委託料等
			地域における利用促進の取り組み等	1,140	470	印刷製本費等
			合計	415,450	440,521	
スケジュール(経過及び今後展開)						
		【経過(～30年度)】 ・H4年度 バス利用促進等総合対策事業開始 ・ノンステップバス、バスロケーションシステム等の導入に対して補助 ・H30年度おでかけ応援バス年間利用日数の上限を撤廃	【31年度】 ・バス利用促進等総合対策事業 ・おでかけ応援バス事業の継続実施 ・公共交通の利用促進の実施 ・バス待ち環境の調査		【今後予定(32年度～)】 ・事業の継続実施	
その他 特記事項						
みんなの審査会対象外 関連事業： 建築都市局 バス運行事業 建築都市局 公共交通利用促進事業(交通政策課)						